



## 2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年5月10日

上場会社名 株式会社エーワン精密 上場取引所 東  
 コード番号 6156 URL <https://www.a-one-seimitsu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 哲也  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 哲也 (TEL) 042-363-1039  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年6月期第3四半期の業績 (2022年7月1日~2023年3月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	1,332	△5.9	242	△30.7	242	△32.1	165	△33.0
2022年6月期第3四半期	1,416	18.2	350	36.2	357	35.2	246	35.2
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年6月期第3四半期	32.95		—					
2022年6月期第3四半期	50.50		—					

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	9,121	91.9	8,379	91.9	8,379	91.9
2022年6月期	9,479	91.7	8,688	91.7	8,688	91.7

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 8,379百万円 2022年6月期 8,688百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年6月期の業績予想 (2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,780	△4.7	302	△30.3	306	△31.2	214	△31.1	42.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年6月期3Q	6,000,000株	2022年6月期	6,000,000株
2023年6月期3Q	994,460株	2022年6月期	988,460株
2023年6月期3Q	5,007,175株	2022年6月期3Q	4,874,687株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期損益計算書関係)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な金利上昇から景気鈍化傾向になり、金融不安なども重なり、全体としては縮小傾向を示しました。

国内製造業では、大企業の景況感が悪化しました。中小企業は昨年後半から徐々に受注は減少に転じる企業が増えていて、景況感の悪化は鮮明となっています。業界で見ると、自動車では車載用半導体の欠品がやや改善され始め増産傾向となりましたが、自動車部品メーカーでは在庫調整などで本格的な稼働にはまだ時間がかかると考えられます。昨年半ばまで需要が高水準であった半導体も、コロナによる在宅やリモートワークなどに必要なパソコン・スマートフォン需要も一巡して、データセンター向けも落ち着き、半導体メモリの需要が減退し半導体製造装置の需要も一部減少してきました。人材不足対応のため自動化・省力化設備は設備投資を引っ張ってきましたが、製造業の景況感悪化に伴い投資額は減少しました。

半導体に絡む先端技術分野において米中の対立が深まり、ロシアのウクライナ侵攻など地政学リスクもあり、エネルギー・穀物価格の高騰、資源価格の上昇など急速にインフレ圧力が高まり、世界各国で政策金利引き上げや金融引締め措置を強化してきました。ここにきて債券価格急落や不動産市況悪化に伴い金融不安が顕在化してきており、景気減速傾向となってきています。

コレットチャック部門では、自動車生産が徐々に回復してきましたが、部品メーカーでは在庫調整があり本格的に回復には至らず、半導体市況悪化に伴う半導体メーカーや関連する電子部品メーカーも受注が減少してきて、量産部品加工が緩やかな減速傾向となりました。このような状況を受けて、当社のコレットチャックも1月から3月にかけて緩やかな減少となりました。

この結果、当セグメントの第3四半期累計期間の売上高は920,642千円（前年同期比7.2%減）、セグメント利益は397,238千円（前年同期比16.4%減）となりました。

切削工具部門では、裾野の広い自動車部品メーカーは末端までは、まだ本格的には戻っていないのと、自動化・省力化などの設備投資も景気鈍化に伴い落ち着いてきて、顧客企業の機械稼働率はやや低下しました。量産部品加工も減少傾向となりました。

別注切削工具の製作・再研磨は、様々な形状に対応し、納期を短縮したことで新たな取引が増えて製造業全般の加工量が減少したなかでも、緩やかに増加しました。売上高は112,328千円（前年同期比3.5%増）となりました。

市販切削工具の再研磨は、量産部品加工がやや減少傾向となり、機械稼働率が落ちたことなどにより売上高は289,439千円（前年同期比3.3%減）となりました。

この結果、当セグメントの第3四半期累計期間の売上高は401,768千円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益は57,550千円（前年同期比37.1%減）となりました。

自動旋盤用カム部門では、カム式自動旋盤で加工する量産部品が減少し、当セグメントの受注は少なくなり減収・減益となりました。

この結果、当セグメントの第3四半期累計期間の売上高は10,380千円（前年同期比34.4%減）、セグメント利益は636千円（前年同期比89.0%減）となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,332,791千円（前年同期比5.9%減）、営業利益は242,393千円（前年同期比30.7%減）、経常利益は242,443千円（前年同期比32.1%減）、四半期純利益は165,010千円（前年同期比33.0%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、7,440,053千円（前事業年度末は7,719,717千円）となり279,664千円の減少となりました。これは、仕掛品が13,740千円、原材料が7,938千円増加しましたが、現金及び預金が267,743千円、受取手形及び売掛金が29,635千円、前払費用が2,750千円減少したこと等によるものであります。

また、当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,681,910千円（前事業年度末は1,759,767千円）となり77,857千円の減少となりました。これは、投資有価証券が38,466千円、繰延税金資産が16,290千円増加しましたが、長期前払費用が73,223千円、機械装置及び運搬具が42,937千円、建物及び構築物が16,894千円減少したこと等によるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における総資産は、9,121,963千円（前事業年度末は9,479,485千円）となりました。

### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、205,982千円（前事業年度末は265,490千円）となり59,507千円の減少となりました。これは、未払金が31,643千円増加しましたが、未払法人税等が88,492千円、役員賞与引当金が5,000千円減少したこと等によるものであります。

また、当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、536,282千円（前事業年度末は525,040千円）となり11,242千円の増加となりました。これは、役員退職慰労引当金が4,350千円減少しましたが、退職給付引当金が10,119千円増加したこと等によるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は、742,265千円（前事業年度末は790,531千円）となりました。

### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、8,379,698千円（前事業年度末は8,688,953千円）となり309,255千円の減少となりました。これは、その他有価証券評価差額金が26,887千円増加しましたが、利益剰余金が336,143千円減少したことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、2023年1月31日発表の業績予想どおりとなる見込みであります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,965,864	6,698,121
受取手形及び売掛金	386,287	356,652
製品	3,428	2,033
原材料	31,906	39,844
仕掛品	233,739	247,479
前払費用	97,716	94,966
その他	933	999
貸倒引当金	△158	△44
流動資産合計	7,719,717	7,440,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	442,625	425,731
機械装置及び運搬具(純額)	496,636	453,699
土地	333,534	333,534
その他(純額)	11,117	12,386
有形固定資産合計	1,283,914	1,225,352
無形固定資産	3,850	3,171
投資その他の資産		
投資有価証券	145,388	183,854
長期前払費用	138,745	65,522
繰延税金資産	187,529	203,820
その他	879	729
貸倒引当金	△540	△540
投資その他の資産合計	472,002	453,386
固定資産合計	1,759,767	1,681,910
資産合計	9,479,485	9,121,963
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	18,589	17,665
未払金	89,866	121,509
未払法人税等	115,450	26,957
役員賞与引当金	10,700	5,700
その他	30,884	34,149
流動負債合計	265,490	205,982
固定負債		
退職給付引当金	376,525	386,645
役員退職慰労引当金	139,540	135,190
その他	8,975	14,447
固定負債合計	525,040	536,282
負債合計	790,531	742,265

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	292,500	292,500
資本剰余金	481,250	481,250
利益剰余金	8,567,962	8,231,818
自己株式	△692,283	△692,283
株主資本合計	8,649,428	8,313,285
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	39,525	66,412
評価・換算差額等合計	39,525	66,412
純資産合計	8,688,953	8,379,698
負債純資産合計	9,479,485	9,121,963

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年7月1日 至2022年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2023年3月31日)
売上高	1,416,049	1,332,791
売上原価	849,777	884,111
売上総利益	566,271	448,680
販売費及び一般管理費	216,259	206,286
営業利益	350,011	242,393
営業外収益		
受取利息	140	141
受取配当金	3,429	3,834
売電収入	1,775	420
貸倒引当金戻入額	—	110
作業くず売却益	994	818
その他	668	911
営業外収益合計	7,007	6,237
営業外費用		
株式報酬費用消滅損	—	6,187
営業外費用合計	—	6,187
経常利益	357,019	242,443
特別損失		
固定資産除却損	574	0
特別損失合計	574	0
税引前四半期純利益	356,445	242,443
法人税、住民税及び事業税	130,830	105,302
法人税等調整額	△20,541	△27,869
法人税等合計	110,289	77,433
四半期純利益	246,156	165,010



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「時価の算定に関する会計基準の適用指針」の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる四半期財務諸表に与える影響はありません。

(四半期損益計算書関係)

譲渡制限付株式報酬の付与対象者の退職に伴い、譲渡制限付株式割当契約に基づき割り当てた当社普通株式6,000株の全てを当社が無償取得したことにより、前払費用及び長期前払費用として計上していた、該当事項契約期間の未経過分を株式報酬費用消滅損で営業外費用として計上しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第3四半期累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益計 算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	992,272	407,942	15,834	1,416,049	—	1,416,049
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	992,272	407,942	15,834	1,416,049	—	1,416,049
セグメント利益	475,141	91,491	5,764	572,398	△222,386	350,011

(注)1 セグメント利益の調整額は、製造部門共通費 △6,126千円と主に報告セグメントに帰属しない販売費及一般管理費であります。

- 2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益計 算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	920,642	401,768	10,380	1,332,791	—	1,332,791
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	920,642	401,768	10,380	1,332,791	—	1,332,791
セグメント利益	397,238	57,550	636	455,425	△213,032	242,393

(注)1 セグメント利益の調整額は、製造部門共通費 △6,745千円と主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

- 2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コレット チャック部門	切削工具部門			自動旋盤用 カム部門	
		別注切削工具の 製作・再研磨	市販切削工具の 再研磨	小計		
工具製作	992,272	108,489	—	108,489	15,834	1,116,595
その他	—	—	299,453	299,453	—	299,453
顧客との契約から生じる 収益	992,272	108,489	299,453	407,942	15,834	1,416,049
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	992,272	108,489	299,453	407,942	15,834	1,416,049

当第3四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コレット チャック部門	切削工具部門			自動旋盤用 カム部門	
		別注切削工具の 製作・再研磨	市販切削工具の 再研磨	小計		
工具製作	920,642	112,328	—	112,328	10,380	1,043,351
その他	—	—	289,439	289,439	—	289,439
顧客との契約から生じる 収益	920,642	112,328	289,439	401,768	10,380	1,332,791
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	920,642	112,328	289,439	401,768	10,380	1,332,791